

# 日本人のアサーション度向上のための提案

普通科探究24班

## 背景

社会や集団において人とより良いコミュニケーションをするには自分の意見を正確に表現できる必要がある。

そこで私達が着目したのが、「アサーション」という自己表現の仕方である。(私達は、言葉を用いた自己表現を中心に探究している。)

## 仮説

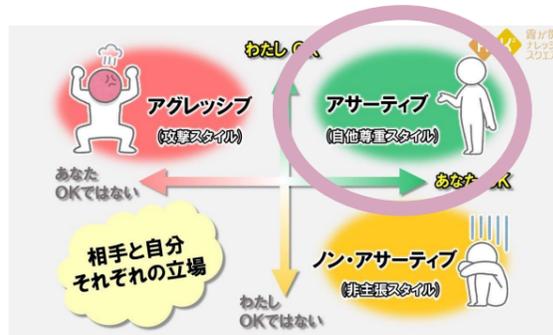
日本人はアサーション度が低い傾向にあるのではないか。

## ※アサーションとは

自他を尊重した上で行う、自己主張・自己表現のこと。“no”とはっきり言えるかどうか。

## 研究目的

日本人のアサーション度について研究し向上のためにできることを提案する。



## 先行研究

『日本人大学生と海外大学生のアサーション度に関する調査研究

～日・米・中・泰の4カ国比較から～』

### ○研究結果

国籍によってアサーション度が異なる。

アサーション度全体で見ると、「アメリカ・中国」、「タイ」、「日本」の順にアサーション度が高かった。

⇒日本はこの4カ国の中でアサーション度が一番低く、日本のみ男性の方が高いという男女の差

## インタビュー

(12月6日 立命館大学・三田村仰先生)

男女で差異が見られる理由→教育、文化

- ①女性の方がはっきり言うと角が立つ
- ②HSPなど繊細・人目を気にする文化強い
- ③自己主張しない=美德

\* 他国でも差異はある⇔日本の差異ははっきり

## 参考文献

園田智子『日本人大学生と海外大学生のアサーション度に関する調査研究—日・米・中・泰の4カ国比較から』

[https://www.istage.jst.go.jp/article/iesj/40/0/40\\_128/pdf-char/ja](https://www.istage.jst.go.jp/article/iesj/40/0/40_128/pdf-char/ja)

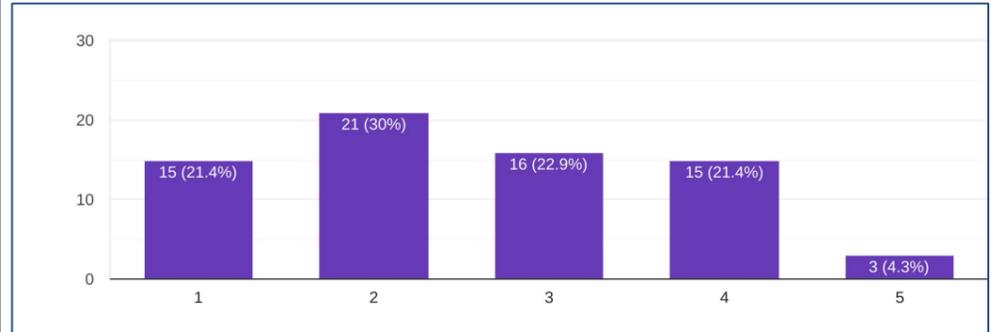
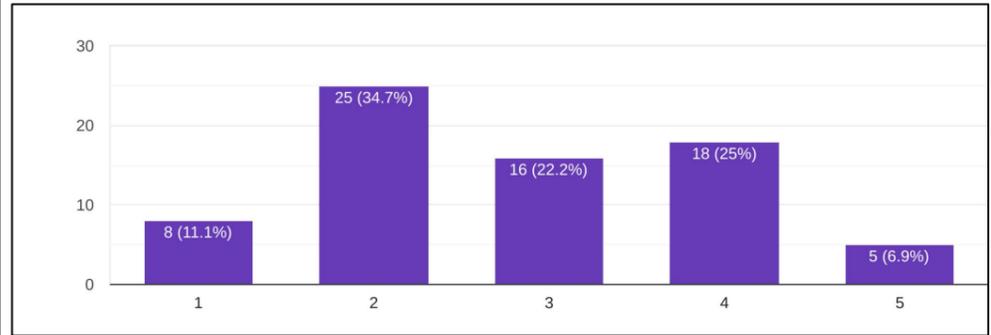
霞が関ナレッジスクエア【KK2】公式 イラスト [https://youtu.be/c\\_Vt3\\_2t\\_Nk](https://youtu.be/c_Vt3_2t_Nk)

## アンケート結果・考察

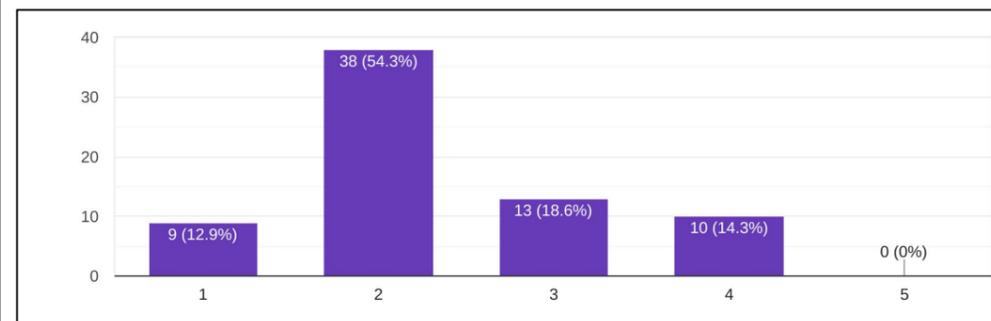
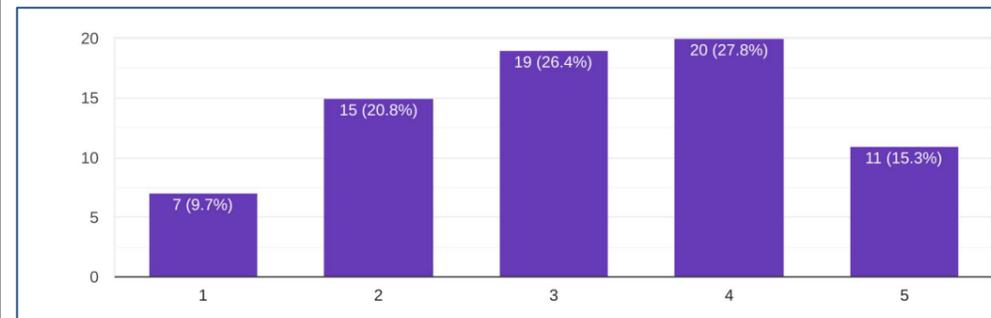
上:男性 下:女性

※性別は自己自認のもの

和を乱すチームメイトや仲間がいるときその人の行動を改めてもらうことができるか



不当に注意されたり怒られたときそれが不当であることを相手に理解してもらうことができるか



1=いつもそうでない 2=たいていそうでない

3=どちらともいえない 4=たいていそう 5=いつもそう

## まとめ

私達はアサーション度向上のために学校等でのアサーション・トレーニング実施の提案をする。各場面を設定し、実際のアサーティブな対応を小さい頃から身につけることで、男女ともにアサーションスキルの高い国民性を目指す。まずは、私達が作成した動画を見てもらい、アサーションのことを少しでも知ること、普段から意識して自他を尊重したコミュニケーションをとってほしい。